

公益財団法人京都市国際交流協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 千玄室

2 所在地

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1

3 電話番号

075-752-3010

4 ホームページアドレス

<https://www.kcif.or.jp/>

5 設立年月日

平成元年1月18日

6 基本財産

100,000千円（うち本市出えん額 100,000千円，出えん率 100.0%）

7 事業目的

京都において、歴史、文化その他の地域特性を生かした国際交流活動を推進することにより、市民レベルの相互理解と友好親善を深め、京都の国際化に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 国際交流を推進するための事業
- (2) 多文化共生社会を推進するための事業
- (3) 地域の国際交流団体の活動の振興
- (4) 留学生の支援
- (5) 姉妹都市交流の促進
- (6) 京都市国際交流会館の管理運営受託
- (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

総合企画局国際交流・共生推進室（TEL075-222-3072）

10 役員名等

- (1) 理事長
千玄室
- (2) 専務理事
藤田裕之
- (3) 理事
有田典代，小川伸彦，陳萍，高田光治，仲尾宏，浜田麻里，
西松卓哉（総合企画局国際交流・共生推進室長）
- (4) 監事
中村健児，奥井拓史（総合企画局総合政策室長）

11 常勤職員数

19人（うち本市派遣職員0人）

- (ウ) 多文化共生社会へのまちづくり
 - a 医療通訳派遣事業
 - b コリアンサロン「めあり」
 - c 市立小中学校日本語ボランティア
 - d 外国人のための住宅支援事業
 - e 外国籍市民コミュニケーション支援事業
(行政通訳・相談事業, 京都市新生児訪問等通訳者派遣)
 - f 子育て応援～つながる, kokoka キッズスペース
 - g 災害時における外国籍市民支援(「地震・緊急時行動マニュアル」の配布, 「kokoka 防災訓練 2020」の実施, 「多言語便利情報」の運営, 京都市避難所/広域避難場所 Map の配布, 子ども向けワークショップの実施)
 - h 多文化コミュニティ協働事業
 - i 錦林東山学区民体育祭への参加(新型コロナウイルス感染予防のため中止)
 - j グローバル婚活 koko コンセミナー
 - k 京都市における kokoka 日本語教育推進事業
- オ 留学生との協働, 留学生への支援, 留学生との交流事業
 - (ア) 留学生スタディ京都ネットワークへの参画
 - (イ) 京都市外国人留学生国民健康保険料補助事業
 - (ウ) 留学生のための就職支援事業
 - (エ) 留学生受入環境整備事業
 - (カ) 外国人歓迎会(新型コロナウイルス感染予防のため中止)
- カ 広報・出版・広告事業
 - (ア) 年報『Annual Report』等の発行
 - (イ) 催物案内『イベントカレンダー』の発行
 - (ウ) 『LIFE IN KYOTO』の発行
 - (エ) 京都市避難所/広域避難場所 Map 等の配布
 - (オ) 『kokoka 子育て応援 BOOK』の発行
 - (カ) kokoka 京都市国際交流会館サービス案内冊子『あなたのくらしをサポートします』配布
 - (キ) 留学生向け「市役所から送られてくる手紙(書類)の説明」作成
 - (ク) 「日本語学習に関するアンケート報告書」作成
 - (ケ) インターネットによる情報受発信事業
 - (コ) SNS による情報受発信事業
 - (サ) 広告関係
- キ 姉妹都市コーナー・展示室の運営及び姉妹都市関連事業
 - (ア) 姉妹都市コーナー・展示室の運営
- ク 京都市国際交流会館の運営
 - (ア) 貸施設関係
 - (イ) kokoka 舞台芸術活動応援事業(グランドピアノ体験イベント)
 - (ウ) 京都市国際交流会館屋外使用・館内ロビー等使用
 - (エ) 団体事務室の入居団体及びレストランとの連携
 - (オ) 京都岡崎魅力づくり推進協議会への参画
 - (カ) 「春! kokoka おもてなし広場」の実施
- ケ 理事会等の開催

(2) 財務諸表

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	45,949	47,632	△1,683
未収金	5,585	1,039	4,546
前払金	0	0	0
流動資産合計	[51,533]	[48,671]	[2,862]
2. 固定資産			
(基本財産)			
投資有価証券	100,000	100,000	0
基本財産合計	(100,000)	(100,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	73,764	70,271	3,492
特定事業運営基金	100,000	100,000	0
特定資産合計	(173,764)	(170,271)	(3,492)
(その他固定資産)			
定期預金	2,101	2,100	0
投資有価証券	29,953	29,950	3
什器備品	1,059	343	717
絵画等	9,700	9,700	0
その他固定資産合計	(42,813)	(42,093)	(720)
固定資産合計	[316,577]	[312,364]	[4,212]
資産合計	368,110	361,036	7,074
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,288	11,554	△8,265
預り金	1,015	1,108	△94
前受金	8,204	12,790	△4,586
賞与引当金	9,754	9,969	△215
流動負債合計	[22,261]	[35,421]	[△13,160]
2. 固定負債			
退職給付引当金	97,154	89,045	8,109
固定負債合計	[97,154]	[89,045]	[8,109]
負債合計	119,415	124,466	△5,051
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出捐金	100,000	100,000	0
寄附金	100,000	100,000	0
指定正味財産合計	[200,000]	[200,000]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(100,000)	(100,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(100,000)	(100,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[48,695]	[36,570]	[12,125]
正味財産合計	248,695	236,570	12,125
負債及び正味財産合計	368,110	361,036	7,074

正味財産増減計算書
令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,262	1,262	0
特定資産運用益	2,203	2,094	109
事業収益	232,189	246,930	△14,741
受託事業収益	(195,649)	(190,736)	(4,913)
自主事業収益	(36,540)	(56,194)	(△19,655)
受取補助金等	37,717	27,657	10,060
受取寄附金	3,256	1,943	1,313
雑収益	270	275	△5
委託料収益	7,814	9,002	△1,188
経常収益計	284,710	289,162	△4,452
(2) 経常費用			
事業費	264,152	284,630	△20,478
管理費	8,363	8,574	△211
経常費用計	272,515	293,204	△20,689
当期経常増減額	12,195	△4,041	16,237
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	12,195	△4,041	16,237
法人税等	70	70	0
当期一般正味財産増減額	12,125	△4,111	16,237
一般正味財産期首残高	36,570	40,681	△4,111
一般正味財産期末残高	48,695	36,570	12,125
II. 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000	200,000	0
指定正味財産期末残高	200,000	200,000	0
III. 正味財産期末残高	248,695	236,570	12,125

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (決算)
正味財産増減計算書	経常収益	280,132	289,162	284,710
	当期経常増減額	△13,409	△4,041	12,195
	当期正味財産増減額	△13,409	△4,111	12,125
貸借対照表	総資産	364,331	361,036	368,110
	総負債	123,649	124,466	119,415
	正味財産	240,681	236,570	248,695

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H30 (決算)	R1 (決算)	R2 (決算)
委託料	京都市国際交流会館の管理運営 〔指定管理 (公募)〕 (※)	191,986	190,736	195,649
	行政通訳・相談事業	2,470	4,565	4,865
	多言語情報発信サポート事業		352	449
	平和祈念事業	786	724	200
	乳幼児健診等への通訳派遣	1,458	1,169	1,130
	留学生受入環境整備事業 (優待プログラム, ウェルカム・パッケージ)		3,361	2,300
	留学生優待プログラム	1,480	0	0
	来日直後の留学生を支援する 「ウェルカム・パッケージ」	1,650	0	0
	国際文化市民交流促進サポート事業	300	0	0
	日本語学習支援事業	200	0	0
補助金	京都市外国人留学生国民健康 保険料補助事業	12,091	13,000	12,603
負担金	リユース食器利用促進助成金	105	45	0
	医療通訳派遣事業	4,582	4,700	3,063
交付金	京都市外国籍市民総合相談窓 口の整備及び運営		8,411	376
その他	京都市国際交流会館の利用キ ャンセルに伴う利用料の還付		1,378	10,169

(※) 利用料金制

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<p>令和2年度は、コロナ禍による臨時閉館等に伴い、利用料金収入が減少するなどの影響があったものの、支出面でもコロナ禍に対応した経費削減等の取組を進めたことにより、当期経常増減額が12,195千円の黒字となった。</p> <p>また、独自の取組として、令和2年度から「国際交流活動応援企業・団体登録制度」を新設するなど、寄付金の収入増に取り組んでいる点は大きいと評価できる。</p> <p>一方で、令和3年度についても、コロナ禍で貸館の予約が大幅に減少することも想定されるため、引き続き厳しい財政運営が求められる。</p>
事業面	<p>令和2年度は、コロナ禍であらゆる事業の実施が困難となる中、感染防止対策を講じつつ、事業規模や実施方法の見直しを行いながら、オープンデイなどの事業を実施するなど、工夫を重ねつつ、市内における国際交流活動の推進に寄与している。</p> <p>また、令和2年度から、文化庁の助成金を活用して、新たに「京都市における kokoka 日本語教育推進事業」を開始されたが、同事業は、今後増加が見込まれる外国籍市民等の受入環境の充実や、地域の多文化共生の促進のため、重要な役割を果たすことが期待できる。</p> <p>加えて、「京都市外国籍市民総合相談窓口」の運営や、HP等を通じた外国籍市民等への多言語情報発信など、外国籍市民等をサポートする事業を展開している点は高く評価でき、これらの事業は新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況においても、非常に重要な役割を果たしていると考えられる。</p>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

コロナ禍の中、国際交流会館の入館者が大きく減少したものの、補助金収入や寄附金収入が増加したこともあり、最終損益は黒字を確保している。

コロナの収束が長引く中、厳しい状況が続くが、引き続き、施設の利用料金収入の増加、補助金・寄附金等の更なる獲得など、団体の自主財源の強化に努めていただきたい。

また、当団体は、事業収益の大半が市施設（国際交流会館）の指定管理料となっている。これまでの類似団体の事例では、市の関与がなくても、協定書等により適正な事業の執行が図れると考えられ、市からの運営補助金や職員派遣の受入もないことから、将来的な自律化（非外郭団体化）も視野に取組を進めていただきたい。